

モニタリング結果報告書

施設 大磯城山公園

指定管理者 公益財団法人神奈川県公園協会

施設所管課 都市公園課

(平成 23 年度 下半期)

管理運営状況総括

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえ、判定してください）

B

<判定理由>

施設の魅力向上のため、提案通りイベント等を催し、広報活動などにも積極的に取り組んだ。また、本公園における特性を踏まえた維持管理を実施し、良好な収支状況であることからB判定とした。

A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。

B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。

C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。

D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	11/9	11/29	○	○	○	なし	
11月	12/9	12/21	○	○	○	なし	
12月	1/10	1/26	○	○	○	なし	
1月	2/9	2/20	○	○	○	なし	
2月	3/9	3/28	○	○	○	なし	
3月	4/10	4/27	○	○	○	なし	

3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

（指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載する。）

<提案内容の概要>

総合的な管理運営の方針「湘南の風土と邸園文化の継承、おもてなし」

管理運営のテーマ「別邸跡地の資源の活用と魅力の向上」

- ・ 竹林やモミジなど緑と庭園の風情と魅力の向上
- ・ 樹林地や園路沿いの花修景による「和花の路」づくり
- ・ 景観、眺望に配慮した樹林等の植物管理

- ・ 北蔵や「城山庵」などの保全と利活用
- ・ 季節の花を楽しむ「ひかりの広場」の創出

「快適なくつろぎ空間の提供」

- ・ 茶室周辺を活用した邦鑑賞会などの開催
- ・ 北蔵を活用した展望広場利用者への休息機能の提供
- ・ 年齢や利用目的に応じた園内周遊ルート設定、案内サービスの実施
- ・ 安全に安心して通行できる園路や階段の維持管理

「地域との連携と湘南文化の発信」

- ・ 邸園文化圏構想、おおいそオープンガーデンフェスタ等との連携
- ・ 旧吉田茂邸や旧安田善治郎邸などの協力を得た、邸園巡りの企画運営
- ・ 茶道や華道などの愛好家と連携した茶室や北蔵の利活用
- ・ 大磯町郷土資料館との連携による学びの場の提供
- ・ 大磯町運動公園と地域とともに協働した祭り等の開催

＜実施状況＞

「別邸跡地の資源の活用と魅力の向上」

- ・ 邸園の風情を活かし、11月下旬から不動池・もみじの広場・茶室で「もみじのライトアップイベント」を開催。
11/23～11/27 [もみじのライトアップ] 6,787名参加
- ・ 和花の路づくりとして、ツワブキやヤマユリの補植を実施し、群で見せる植栽を強化。
- ・ 眺望確保のため、伸張しすぎた高木の枝下ろしを実施。また要注意樹木把握のため、樹木医による点検を実施。
- ・ 北蔵および城山庵の存在周知と利用の促進を目的に、広報を展開。
- ・ 展望台からひかりの広場へ向かう園路沿いに県花ヤマユリを植栽し、閑散期の夏季利用の促進を図った。

「快適なくつろぎ空間の提供」

- ・ もみじのライトアップ時に茶室を活用し箏曲や長唄、雅楽演奏会を開催し、来園者にくつろぎの空間を提供。
11/23～11/27 [もみじのライトアップ邦楽演奏会] 450名参加
- ・ 北蔵ギャラリーを活用し、「親と子による写生会」の作品展示、福祉団体の作品展、大磯城山公園の歴史を伝えるパネル展「今昔物語」、竹細工作品写真展などの開催により、北蔵を開放し、利用者へ休息の場所を提供。
11/3～11/6 [親と子による写生会作品展示会] 400名参加
11/23～11/27 [花と緑のフォトコンテスト入賞作品展示会] 420名参加
1/5～2/12 [今昔物語] 1,568名参加
2/18～3/4 [竹 de おひなさま作品写真展] 610名参加
3/17～3/21 [フェルト作品展] 750名参加
- ・ 園内ルートマップを提供し、車椅子の貸し出しを実施。
- ・ 毎日の巡視点検により安全確保に努め、不備については迅速な回復措置を実施。

「地域との連携と湘南文化の発信」

- ・ 大磯町商工会主催の「おおいそフラワーフェスタ」に参加し、オープンガーデンを実施。
- ・ 「もみじのライトアップ」イベントを「邸園文化圏構想」行事の一つとして実施。
- ・ 大磯ガイドボランティア協会と共催で、本公園を舞台とした「三井総本家別荘跡を訪ねる」ツアーを実施。
- ・ より多くの愛好家の利用促進と連携を図るため、北蔵や茶室の利用案内のチラシを作成し、園内や町役場、県内高校へ配布。また、タウン誌に記事掲載を依頼し、広報を積極的に展開。
- ・ 郷土資料館所有の「茶室如庵の東京から大磯の地へ」移設映像を活用し、大磯城山公園今昔物語のパネル展を連携開催。
- ・ 大磯運動公園の指定管理者の変更に伴い、運動公園との連携行事については一時休止したが、もみじのライトアップイベントでは、点灯前の昼間時間帯に地域の関係機関や団体と調整を図り、プレイベントを実施。

4 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額				支出額	収支差額
	収入合計	指定管理料	利用料金	その他収入		
年間予算額 今期 (前期)	44,500 (44,450)	43,000 (43,000)	0 0	1,500 (1,450)	44,500 (44,450)	0 (0)
下半期予算 額	22,615	22,305	0	310	22,615	0
10月	3,226	3,077	0	149	3,144	82
11月	3,758	3,438	0	320	3,889	△131
12月	5,386	5,386	0	0	4,821	564
1月	3,121	3,121	0	0	2,778	342
2月	3,179	3,179	0	0	4,730	△1,551
3月	4,104	4,104	0	0	4,686	△582
今年度 半期計	22,775	22,305	0	470	24,052	△1,276
前年度 同期計	22,232	21,629	0	603	23,137	△905

1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。

2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

①年間予算額における収支差額が0でない場合は、その理由を記載する。

②今年度半期計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し詳細に記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。

③今年度半期計における収入額又は支出額が前年度対比30%以上プラス又は、マイナスとなっている場合は、理由を分析し、詳細に記載する。

<意見等>

①～③ 該当なし

<参考>

本施設について県が支出した（する）修繕費等

30万円以上の修繕費等については、県が支出することと基本協定で定めている。施設の状態をよりの確に把握するため、県が支出した修繕費等についても参考に記載している。

- 1 県が支出した施設の修繕費等の金額及び工事内容を記載する。
- 2 「金額」欄は、半期ごとの総額を記載し、「工事箇所・内容」欄には、主な工事とその金額をカッコ書きで記載する。

	金額	工事箇所・内容
上半期	472,500円	井戸ポンプの改修（472千円）
下半期	3,893,038円	台風15号対応（倒木処理等）（2,289千円） 茶室補修（764千円） 段差すり付け（840千円）
総額	4,365,538円	

（今期に行った資本的な収入及び支出等の状況）

該当なし

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

5 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
10月	12,216人	6,405人	90.7%
11月	20,104人	20,568人	△2.3%
12月	10,609人	6,851人	54.9%
1月	7,444人	6,242人	19.3%
2月	9,045人	5,692人	58.9%
3月	9,207人	5,691人	61.8%

	目標利用者数	利用者数	前年同月利用者数	目標対比増減率	前年対比増減率
今年度 上半期計	人	57,283 人	37,341 人	%	53.4%
今年度 下半期計	人	68,625 人	51,449 人	%	33.4%

利用状況に関する意見等

①今年度下半期計の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由及び対応策を分析し記載する。(特に、理由の記載にあたっては、各月の状況を分析し、わかりやすく具体的に記載する。)

②目標利用者数を下回った場合は、その理由を記載する。

なお、目標利用者数を定めていない場合は、未記入もやむを得ないが、次回以降は記入する。

<意見等>

22年度までは第1駐車場の駐車台数のみ利用者数算出の公式に当てはめ公園利用者を算出していたが、平成23年5～6月に入園者数実態調査を西・東・南門の3出口で各9回行い、郷土資料館・茶室・トイレの利用者数の実態を把握し、利用者数算出の公式を変更した。これに伴い、23年度から郷土資料館・茶室・トイレ利用者も公園利用者として加算されることとなったため、利用者の増加となった。

また、下半期は10/22～12/11で開催された大磯町郷土資料館の企画展「澤田美喜」展が大変好評で、企画展目当ての来園が多くあった。今冬は寒い日が続いたが、ギャラリーの記帳を見ると遠方からの来園者も多数見られた。

6 苦情・要望等の状況

受付件数（うち施設所管課受付分）

	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
合計	1 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	5 (0)

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

該当なし

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなど、特に注意すべき場合に記載する。

分野	概要	対応状況
施設・設備	・	
	・	
	・	
職員対応	・	
	・	
	・	
事業内容	・	
	・	
	・	
その他	・	
	・	

8 事故や不祥事等の発生状況

該当なし

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	事故の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)
月 日			
月 日			
月 日			

9 随時モニタリングの実施状況

該当なし

〔 事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。 〕

実施日 (事故発生日)	対応者等	経緯・調査内容	調査結果(指定管理者の課題の有無等を含む)
月 日 (月 日)			
月 日 (月 日)			

10 下半期の所見等

〔 2～9の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。 〕

指定管理者	<p>駐車場収入が東日本大震災の影響もあってか、上期から低迷しており、11月の紅葉シーズンに盛返したものの目標収入の82%に留まった。このため、下半期は特に翌年度に向け、北蔵や茶室等公園施設の更なる利活用や魅力づくりを企画するとともに、今まで以上に地域と連携し指定管理事業を推進すべく共同事業等の調整を図った。</p>
施設所管課	<p>公園内の施設を活用し、毎月イベントを企画・開催して、当公園・施設の認知度を高め、また公園の魅力の付加と利用の促進に努めた。また、今後さらに地域との連携の強化を図るため、着々と準備を進めている。来年度の成果に期待したい。</p> <p>園内の施設管理についても計画的に実施し、県からの要請に基づく節電の取り組みも行い、効果を発揮している。</p>